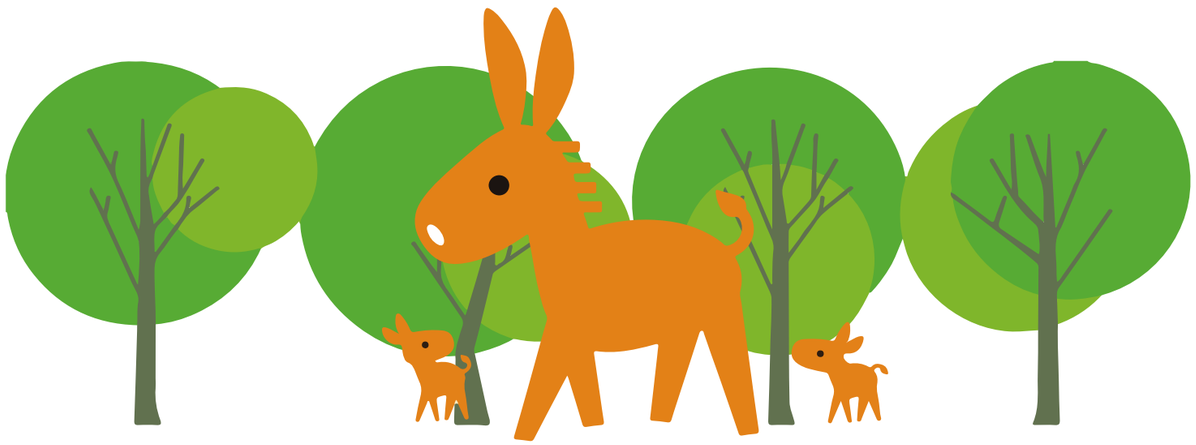


あま市ふれあいケアパス

発行年　令和6年
発行者　あま市福祉部高齢福祉課　地域包括支援センター
〒497-8602　愛知県あま市七宝町沖之島深坪1

☎　052-444-3159
Fax　052-443-2571

認知症になっても安心して暮らせるまち

あま市 ふれあいケアパス

……ふれあいケアパスとは……

「もしかしたら認知症かも」と不安に思った時、本人や家族がどこに相談したらよいのか、症状に応じてどのような支援（サービス）が利用できるのか等を示したものです。
認知症の早期発見・予防のため、住み慣れた地域で本人らしく暮らしていくための手引きです。

あま市福祉部高齢福祉課
地域包括支援センター

家族がつくった

認知症早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。
いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

中核症状

もの忘れがひどい

- ☐ 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- ☐ 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 6. 新しいことが覚えられない
- ☐ 7. 話のつじつまが合わない
- ☐ 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- ☐ 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 10. 慣れた道でも迷うことがある

行動・心理症状

人柄が変わる

- ☐ 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 13. 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 14.「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- ☐ 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 17.「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- ☐ 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

行動・心理症状は、家族の接し方や適切な薬物療法により改善が可能です。

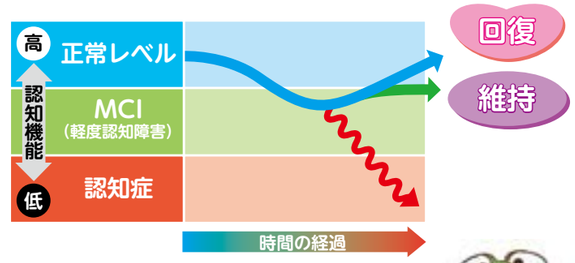
（出典：公益社団法人　認知症の人と家族の会）

知っておきたい 軽度認知障害 (MCI)

① 認知症ではない
② 日常生活には支障がない
③ もの忘れの自覚がある

この状態のことを軽度認知障害（MCI）といいます。

最近の研究では、この段階で予防に努め、適切に対処すれば、約半数の方が正常レベルに戻ったり、進行を遅らせることができると言われています。



認知機能の回復や維持のために MCIのうちに対処しましょう。

若年性認知症

65 歳になるまでに発症した認知症のことを、若年性認知症と呼んでいます。

若年性認知症が疑われたら、一人で悩まずに神経科、神経内科、精神科、心療内科、もの忘れ外来などを受診してください。

早めに受診することで、適切なケアや支援を受けながら、今までと同じ生活をより長く送ることにつながります。早期であれば理解力や判断力が保たれているので、病気であることを受け入れ今後の人生を設計する時間が与えられることになります。

若年性認知症の支援については、下記のようにさまざまな支援施策があります。

- ●経済的・福祉的な支援
- ●医療的な支援
- ●雇用施策での支援
- ●自立支援法による支援
- ●介護保険での支援

詳細については、お近くの地域包括支援センターや認知症疾患医療センターへお問い合わせください。

ガイドブック　ハンドブック

ケアパス　認知症の主な症状と進行に合わせて受けられる支援

健康 ➡ あれ?もの忘れかな ➡ そろそろ誰かの見守りが必要 ➡ 日常生活に誰かの見守りが必要 ➡ 常に手助けが必要

認知症の進行に応じた変化	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (こんなことはありませんか?)	・なんとなくおかしいと感じて不安になる ・約束したことを忘れたり探し物が増える	・物忘れによる生活のし辛さがある ・日付や時間がわからなくなる ・片付けが苦手になる	・服薬やお金の管理ができなくなる ・電話の応対や訪問者の対応などが１人では難しくなる	・着替えや食事、排せつ、入浴などに手助けが必要になる	・車いす、ベットでの生活が中心になる ・言葉による意思表示、理解が困難になる
家族の気持ち (このように思うことありませんか?)	**第1ステップ　とまどい・否定** ・今までになかった言動にとまどう ・悩みを肉親にすら打ち明けられず、一人で悩む ・「年のせいだろう」「言えばできるはず」と否定しようとする	**第２ステップ　混乱・怒り・拒絶** ・どう対応してよいかわからず混乱し、ささいなことに腹を立てたり、叱ったりする ・精神的・身体的に疲労し、拒絶感・絶望感に陥りやすい最もつらい時期		**第3ステップ　割り切り** ・イライラしても何もメリットがないと思い割り切るようになる ・症状は同じでも介護者にとって「問題」は軽くなる	**第4ステップ　受容** ・認知症に対する理解が深まり、本人のあるがままを自然に受け入れられるようになる
家族の心がまえ ケアのポイント	**気づき～相談** ・早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう ・認知症や介護について学ぶ機会を持ちましょう ・友人や地域とのつながりを大切にしましょう	**介護保険の申請等** ・腹が立ってあたりまえ、ひとりで抱え込まないで交流会などで情報を得る機会をつくりましょう ・どのような医療や介護があるかを知り「頑張りすぎない介護」をこころがけましょう ・認知症を身近な人に伝えて理解者や協力者をつくりましょう	**日常的な支援　行動・心理症状や身体症状への対応**		**重症期のケア** ・介護者があっての介護です、まずは自分の健康を大切にしましょう ・必要に応じて施設の情報収集をしたり、医師やケアマネジャー等と終末期のケアの対応を確認しておきましょう

相　談 6･10～11ページ	地域包括支援センター　認知症初期集中支援チーム　権利擁護センター　愛知県認知症電話相談　愛知県若年性認知症総合支援センター
学びの場 7ページ	認知症サポーター養成講座　認知症予防講座　シルバーカレッジ
介護予防･社会参加･交流 7～9ページ	認知症予防講座　はつらつクラブ　シルバー人材センター　ふれあいカフェ　ふれあい・いきいきサロン ワクワクからだ教室　老人クラブ　ボランティア活動　介護者のつどい　趣味活動
医　療 10ページ	かかりつけ医　かかりつけ歯科医　かかりつけ薬局　（まずは、本人の状況をよく知っている身近なかかりつけ医等にご相談ください） 認知症サポート医　認知症疾患医療センター　訪問看護　訪問医療
介　護 9ページ	訪問介護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　訪問看護　訪問入浴　住宅改修費支給　定期巡回･随時対応型訪問介護･看護 通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　福祉用具貸与　特定福祉用具購入費支給
住まい･施設	軽費老人ホーム(ケアハウス)　小規模多機能型居宅介護　有料老人ホーム　サービス付き高齢者向け住宅　認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 介護老人保健施設　特別養護老人ホーム　介護医療院
困った時に活用できるサービス 9ページ	【あま市高齢福祉課】　緊急通報システム事業　徘徊高齢者家族支援サービス事業　徘徊高齢者等SOSネットワーク事業 【あま市社会福祉協議会】　安心支え合いネットワーク事業　日常生活自立支援事業　寝具洗濯乾燥消毒サービス事業　配食サービス事業 【あま市シルバー人材センター】　シルバーお助け隊

認知症初期集中支援チーム

（あま市委託事業）

認知症の早期診断・早期対応に向けた支援を目的としています。複数の専門職で構成されたチーム員が関わり、認知症の方やその家族の自立した生活をサポートします。

受診させることが難しい方には、チーム員が自宅に訪問させていただきます。

対象となる方

40 歳以上で、自宅で生活している認知症の方や認知症が疑われる方で、以下に該当する方

- 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方
- 医療サービスや介護サービス等を利用していない方
- 何らかのサービスは利用しているが、認知症による症状が強く、どのような対応をしてよいか悩んでいる方
- 介護サービスが中断している方

問い合わせ 七宝病院　☎052-443-7800

認知症地域支援推進員

認知症に関する相談や、介護と医療、地域住民とのつながり、生活に関連する機関へつなぐ役割を担い、認知症の方にやさしいまちづくりのため活動しています。

問い合わせ あま市地域包括支援センター　☎052-444-3159

地域の課題をみつけ、解決方法を検討する地域ケア会議

ふれあいカフェのスタッフが集まるカフェ交流会

認知症の方の地域見守り協力者の学習会

さまざまな事業やサービス

学　び

☆認知症サポーター養成講座

誰もが認知症についての正しい知識を持ち、支え合いの輪を広げる取り組みとして「認知症サポーター養成講座」を開催しています。講師として市の職員やキャラバンメイト（認知症サポーター養成講座を企画、開催し講師を務める役割をもつ方）が会場に出向き、認知症に関する知識や対応方法をわかりやすく伝えています。毎年中学校でも開催され、生徒のほとんどがサポーターです。

☆認知症の方の地域見守り協力者

認知症サポーター養成講座を修了した方で、地域見守り協力者に登録した方です。誰もが暮らしやすい地域づくりのために活動しています。認知症に関する講演会や学習会などのご案内をさせていただくとともに、行事のお手伝いをしています。

学習会

講演会の飾りつけ

☆認知症予防講座

コグニサイズ等の体操や脳トレなどを楽しく行いながら予防について学びます。理学療法士･保健師などが講師となり､皆さんの集まる場所に出向き､運動､クイズ､講話などを行います。

〈講座の例〉

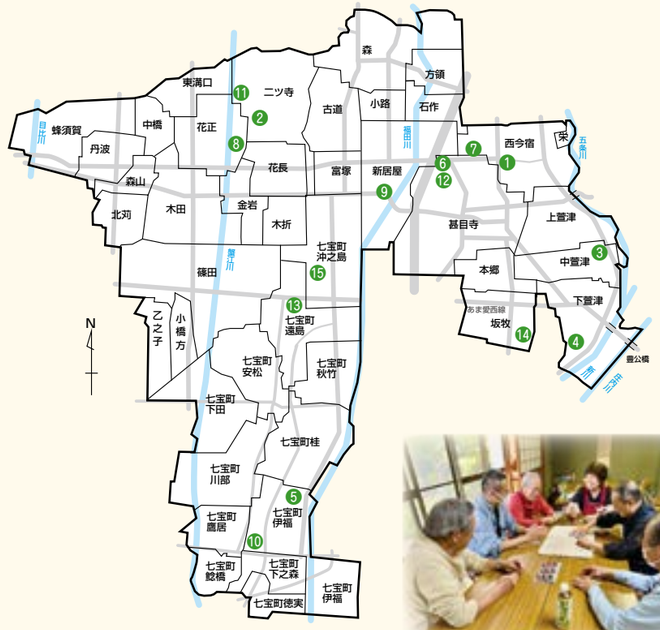
- **認知症予防に効果のある体操**
- **ボールやゴムバンドを使った楽しい運動**
- **簡単なクイズやプリントで脳の活性化**
- **あま市の高齢者について**
- **昔の思い出を振り返る　回想法**

問い合わせ あま市地域包括支援センター　☎052-444-3159

つどいの場

☆ふれあいカフェ

認知症の方や、家族、地域の方など、どなたでも気軽に参加できます。お茶やお菓子を楽しみながら、介護の相談や情報交換、ゲームや小物づくりなどをして交流しています。カフェをやりたい！お手伝いしたい！そんなボランティアさんも募集中です。



❶ 甚目寺
❷ 美和
❸ あまちゃん中萱津
❹ あまちゃん下萱津
❺ 伊福
❻ あまちゃん甚目寺公民館
❼ JA なの花の会甚目寺
❽ JA なの花の会美和
❾ 新居屋
❿ ご近所カフェポップ
⓫ あまちゃん正則
⓬ 歌声ぷらす
⓭ みんなのカフェ
⓮ ごいっしょ Café 『あ居ま』
⓯ 青空カフェ（不定期）

☆介護者のつどい

地域の方、介護をしている方、介護を経験された方など、どなたでも参加できる場です。介護に悩みはつきものです。一人で抱え込まず、お茶を片手に日頃の「思い」を語り合いましょう。

甚目寺…甚目寺公民館　毎月第４水曜日
美　和…美和総合福祉センターすみれの里　偶数月第１月曜日
七　宝…七宝老人福祉センター　奇数月第１月曜日

問い合わせ　あま市地域包括支援センター　☎052-444-3159

予防・つどいの場

☆はつらつクラブ

軽い体操に加え、口腔や栄養の講話を通じた、介護予防のための運動教室です。

問い合わせ
あま市地域包括支援センター
☎ 052-444-3159
Fax 052-443-2571

☆ふれあい・いきいきサロン

高齢者等の生きがいづくり・社会参加・健康づくり・閉じこもり防止を目的として、楽しく気軽に仲間づくりを行う場です。

問い合わせ
あま市社会福祉協議会
☎ 052-443-4291
Fax 052-443-5461

☆ワクワクからだ教室

ストレッチや体操など体を動かすことを中心とした教室です。

問い合わせ
あま市健康推進課
甚目寺保健センター
☎ 052-443-0005
Fax 052-443-5461

介護保険制度

☆介護サービス･介護予防サービス

利用するには､要介護（支援）認定の申請をして､「介護･支援が必要である」と認定されることが必要です。まずはご相談ください。

問い合わせ　あま市高齢福祉課　☎ 052-444-3141　Fax 052-443-2571

サービス

☆緊急通報システム事業

虚弱な在宅ひとり暮らし高齢者およびひとり暮らしに準ずる世帯の高齢者に対して、緊急通報用機器を設置します。

☆徘徊高齢者家族支援サービス事業

認知症等により、ひとり歩きの可能性がある高齢者の居場所をGPSで検索する機器を貸し出します。

☆徘徊高齢者等SOSネットワーク事業

見守りが必要な高齢者に「高齢者見守りステッカー」を配布します（事前登録必要）。

問い合わせ
あま市高齢福祉課
☎ 052-444-3141
Fax 052-443-2571

☆安心支え合いネットワーク事業

地域のボランティアの方が、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等に対し、見守り・声かけ等の安否確認を行います。

☆日常生活自立支援事業

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な認知症高齢者等が、福祉サービスを利用する手続きなどのお手伝いをします。

☆寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

☆配食サービス事業

問い合わせ
あま市社会福祉協議会
☎ 052-443-4291
Fax 052-443-5461

☆シルバーお助け隊

日常生活のちょっとした困りごと(30分未満でできる福祉･家事援助)をシルバー会員がワンコイン=500円でお助けします。

問い合わせ　あま市シルバー人材センター　☎ 052-442-5010
Fax 052-462-0750

相談 「あれ、何か変だな」「困ったな」と思ったら

■地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員などの専門職が様々な相談を受け支援をしています。　※認知症地域支援推進員がいます

あま市社会福祉協議会地域包括支援センター

甚目寺総合福祉会館内	あま市西今宿馬洗46	☎ 052-443-4291 Fax 052-443-5461
美和総合福祉センターすみれの里内	あま市花正中之割13-1	☎ 052-446-0611 Fax 052-443-3844
七宝老人福祉センター内	あま市七宝町桂弥勒28	☎ 052-441-1681 Fax 052-441-2049

あま市地域包括支援センター

あま市役所１階　高齢福祉課内	あま市七宝町沖之島深坪１	☎ 052-444-3159 Fax 052-443-2571

■認知症初期集中支援チーム

認知症についての困りごと等の相談に対応する、認知症の専門職によって構成されたチームです。認知症の早期診断、早期対応をするため訪問を行っています。

七宝病院	あま市七宝町下田矢倉下1432	☎ 052-443-7800

■認知症疾患医療センター

愛知県及び名古屋市が指定する認知症専門医療機関です。認知症疾患に関する鑑別診断・周辺症状への対応等についての相談などを受けています。

七宝病院	あま市七宝町下田矢倉下1432	☎ 052-443-7900
まつかげシニアホスピタル	名古屋市中川区打出二丁目 347	☎ 052-352-4165
名鉄病院	名古屋市西区栄生二丁目 26-11	☎ 052-551-2802
国立長寿医療研究センター	大府市森岡町七丁目 430	☎ 0562-87-0827

■認知症サポート医

認知症、その疑いがある方に対し、早期から地域の中で必要な医療や介護へと繋いだり、専門医療機関や地域包括支援センターとの連携の推進役となる医師です。あま市には下記病院に在籍しています。

七宝病院	あま市七宝町下田矢倉下 1432	☎ 052-443-7900
小野クリニック	あま市小路三丁目 9-6	☎ 052-445-2221
ひだまりこころクリニック	あま市甚目寺五位田 156	☎ 052-441-0800
宮地クリニック	あま市篠田小塚 48	☎ 052-444-1064

■若年性認知症の相談

認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65 歳未満で発症した場合、「若年性認知症」とされます。本人や家族等からの相談に応じ、若年性認知症支援コーディネーターが、医療・福祉・就労等の総合的な支援をしています。

愛知県若年性認知症総合支援センター（認知症介護研究・研修大府センター1階）

大府市半月町三丁目294	☎ 0562-45-6207	月～土10:00～15:00 （祝日・年末年始を除く）
	メールアドレス　aichi-jakunen@dcnet.gr.jp	

※来所・訪問による面談・オンライン相談は電話またはメールでの事前予約制

若年性認知症コールセンター

☎ 0800-100-2707	月～土10:00～15:00　ただし　水曜日10:00～19:00 （祝日・年末年始を除く）

※メールでの相談はメール相談フォームから可能

■愛知県認知症電話相談

愛知県が公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部に運営を委託している相談電話窓口です。認知症についての知識がある介護経験者が相談を受けています。

公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部

東海市養父町北堀畑58-1	☎ 0562-31-1911	月～金10:00～16:00 （祝日・年末年始を除く）

■成年後見制度に関する相談

成年後見制度とは、認知症等で判断能力が十分でない状態となり、自身で契約などの法律行為における意思決定が難しい方の暮らしや財産などの権利を守るため、家庭裁判所が選任した支援者が法律行為を支援する制度です。

成年後見制度について知りたい、利用を検討したいときはあま市権利擁護センターにご相談ください。

あま市権利擁護センター

あま市役所１階　社会福祉課内	あま市七宝町沖之島深坪１	☎ 052-444-3135 Fax 052-444-1074

■消費者トラブルに関する相談

訪問販売や電話勧誘等の暮らしの中で生じる商品やサービスに関するトラブルについて、専門の相談員が電話や面談で問題解決のための助言等を行っています。

海部地域消費生活センター

津島市西柳原町 1-14	☎ 0567-23-0150	月～金9:00～16:30 （祝日・年末年始は除く）